

2022年11月1日

サステナビリティ経営の実現を目指す森永乳業 物流資材において、社内プラスチック資源循環を開始 バージンプラスチック※使用量 年間約 50トン削減

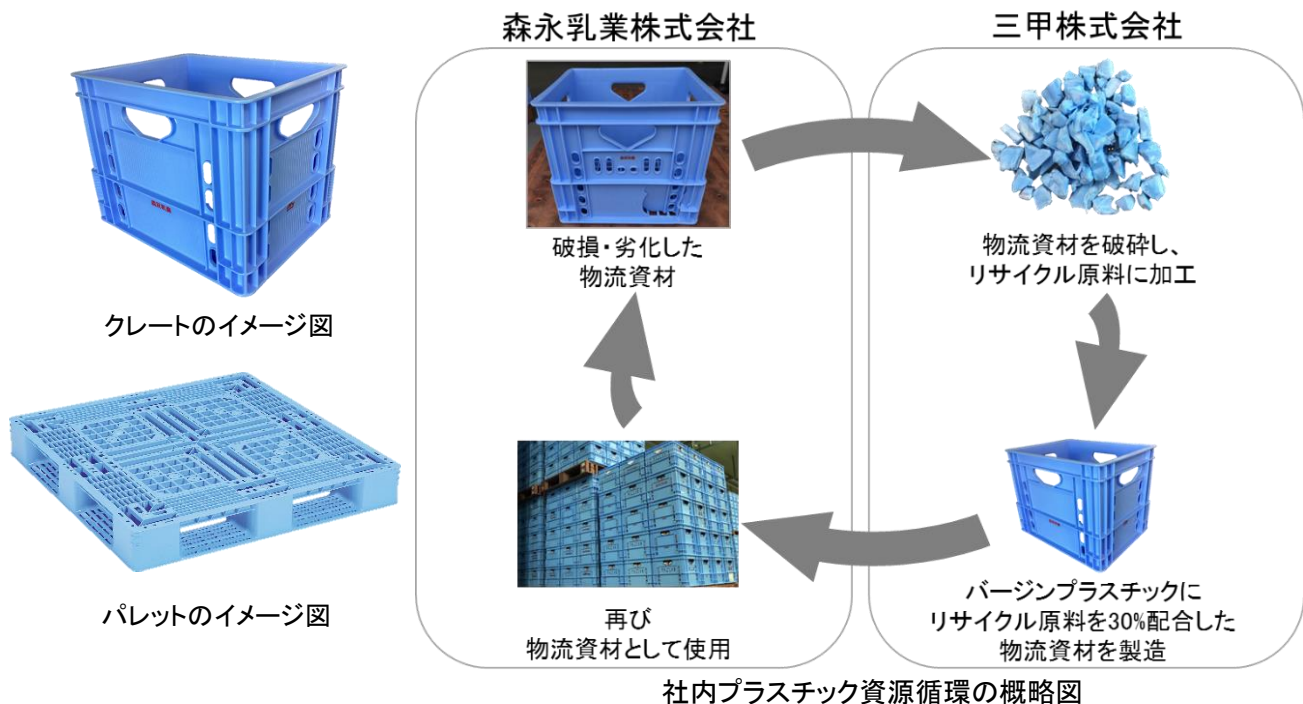
森永乳業グループは、バージンプラスチック※使用量削減の取り組みとして、物流資材における社内プラスチック資源循環を2022年11月より順次開始いたします。

※リサイクル原料などの再生素材を一切使わず、新しい原材料のみを使用して製造されたプラスチックの総称。

森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、今年度よりサステナビリティ中長期計画2030を推進しています。「食と健康」「資源と環境」「人と社会」という3つのテーマを軸に活動を行い、7つのマテリアリティ(重要取組課題)を通じてサステナビリティビジョンの実現を目指します。また、森永乳業グループ環境方針において「限りある資源の有効活用のため、3R(削減、再使用、再生利用)を推進すること」を環境管理重点課題として取り組みを行っています。

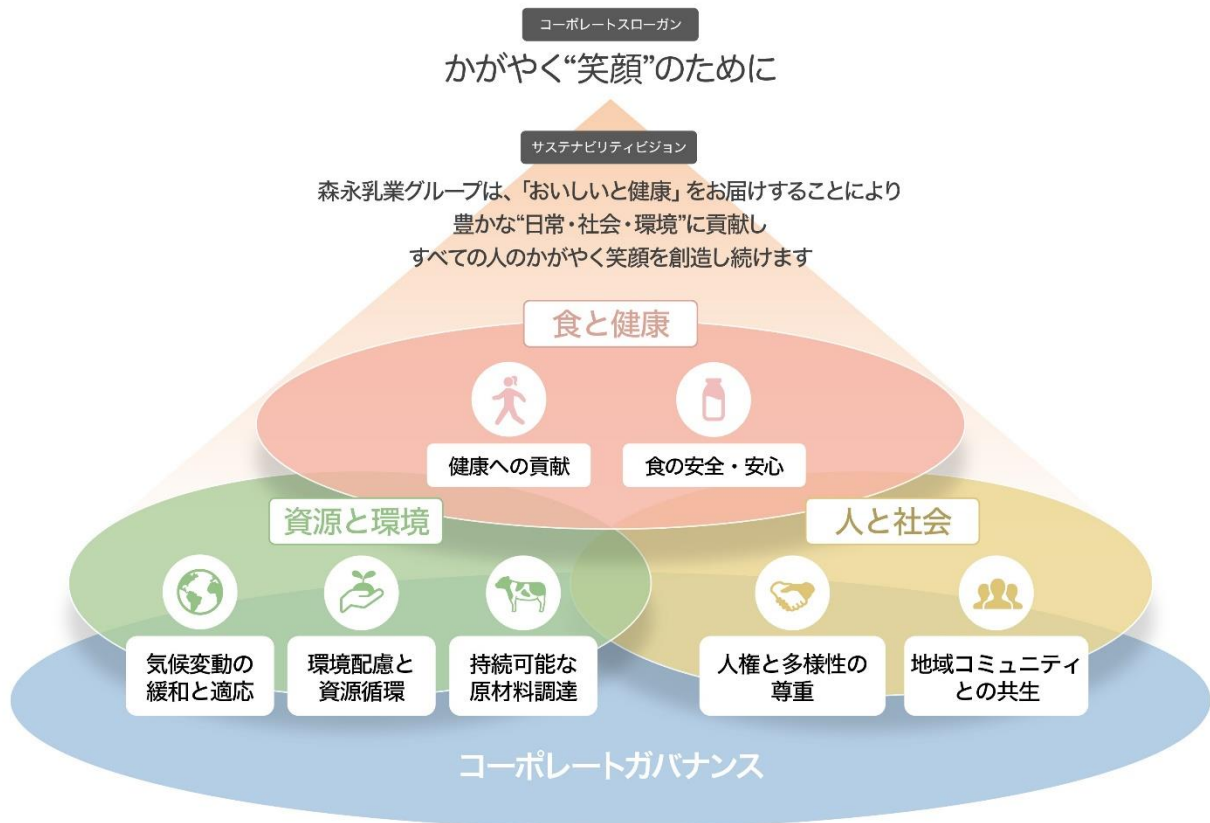
この度、破損・劣化して使用不可となったプラスチック製物流資材(クレート及びパレット)を三甲株式会社(代表取締役社長 後藤利彦)にて破砕し、リサイクル原料へ加工後、リサイクル原料を30%配合したプラスチック製物流資材を製造し、再び森永乳業グループで使用するという、社内プラスチック資源循環の取り組みを開始いたします。本取り組みの対象となる物流資材は、紙パック商品運搬用クレートと常温商品向けパレットです。これにより、物流資材のバージンプラスチック※使用量を年間約50トン削減します。

森永乳業グループは、今後も限りある資源の有効活用および3Rを推進し、さらなる環境負荷の低減を図り、サステナブルな社会づくりに貢献してまいります。



■森永乳業グループのサステナビリティ経営 理念-活動体系図

私たちは、あらゆるステークホルダーのかがやく“笑顔”のために、基盤となるコーポレートガバナンスをはじめ、「食と健康」「資源と環境」「人と社会」という3つのテーマを軸に活動を行い、サステナビリティビジョンの実現を目指します。



■森永乳業ウェブサイト ～森永乳業のサステナビリティ～

<https://www.morinagamilk.co.jp/sustainability/>

以上